



そのうち
お方は若い
勘場役人と
恋仲になり

千エツ

お方は人夫のみならず
役人からも
かわいがられて
いました



お方は
ゆしの
ものじゃ



だが、お方は金で
買われている遊女
ですから自由に
ついて行くことは
できません



ところが
何日かして
役人は任期がきて
萩へ帰ることに
なりました

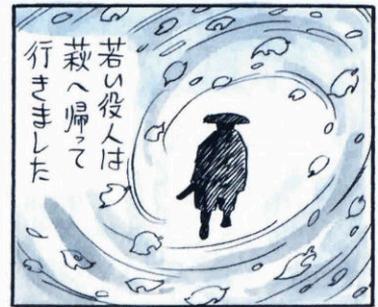


二人は
夫婦の
約束まで
しました



心配するな
必ず迎えに
来る!
私を信じて
待っていてくれ

きんご
ですき



若い役人は
萩へ帰って
行きました

お方は待った
何日も何が月も……
しかし
いくら待っても
迎えは ありません



このうち
風の便りで役人は
萩でお嫁さんを
もらって幸せに
暮らしていると聞き
お方ははじめて
裏切られたことを
知りました



なげき悲しんだ
お方は夜、
ひそかに店を
ぬけ出し



今でも杉山には
百をこえる
採掘坑が残って
おり、当時を
物語る地名も
勘場・勝屋谷・
灰庭(等)多数
残っています



人々は お方を
あわれに思い
身をなげた淵を
「お方が淵」と
呼ぶようになりました

